



精度。それはゴルフのすべて。

HONMA BULLETIN

NOV 2019

ボールの品質は「性能がすべて」 クラブと同じ開発力で、高性能ボールを生み出す

ゴルファーがボールに求める品質は大きく分けて5つある。「飛距離が出る」「曲がりにくい」「スピンの効く」「打感が柔らかい」「価格が手頃」だ。ところが、ゴルフボールは、それぞれでこうしたゴルファーのニーズを満たすことはできないし、今のところ存在はしていない。しかしHONMAでは、ゴルファーが求めるこれらを常に最高レベルで実現するボールの開発を目指し、日夜、努力を惜しまずにいる。

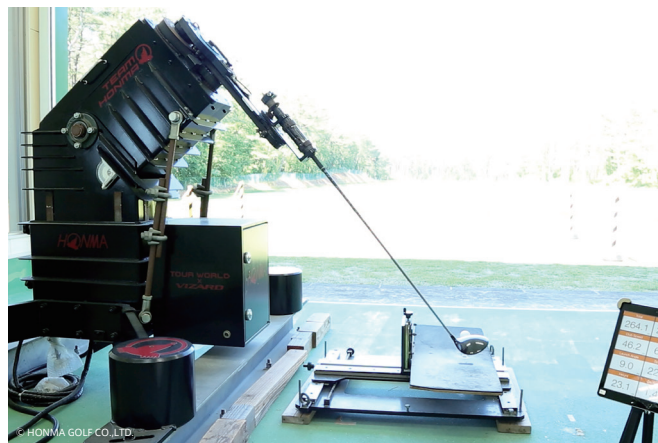
HONMAは、クラブメーカーという印象が強いかも知れないが、実は「ゴルフボールメーカー」としてもその歩を進めていた。そ

して、その歩みが開花したのが2016年に発売した「HONMA D1」ボールだ。「低価格高性能ゴルフボール」として多くのゴルファーに受け入れられると、2018年11月にはさらなる進化を遂げてリニューアルした。

そして現在では、週間店頭販売数で国内トップを誇る人気ゴルフボールに成長。HONMAはボール市場本格参入からわずか5年で、シェア・販売数量ともに、主力ブランドに肩を並べるほどにまで躍進しているが、それを支えているのが、この「HONMA-D1」ボールというわけだ。

研究センターでの妥協なき開発 & テスト ゴルファーのニーズに応える「打感」も徹底追求

これを実現したのは、山形県の酒田工場にあるクラブ研究センターでの地道な開発だ。研究センターは、奥行き最大380ヤードを誇り、ロボットで打ち出されたボールの弾道を、キャリーだけでなくランまで本番と同様の状態で計測。ボール初速、打ち出し角、スピン量、最高到達点、キャリー、ランなどのデータを、様々なシチュエーションを想定して取得している。スイートスポットで打った時の数値はもちろん、オフセンターヒット時のスピンの変化など、ゴルファーの実際のインパクトをイメージして繰り返し行なっているのだ。



よりリアルなシチュエーションで続くテスト。
クラブもボールも、開発に近道はない。

ゴルファーがボールに求める品質のうち「打感」は、HONMAのクラブ開発で重要視している要素の一つである「構えやすさ」と同レベルの意味を持つ。しかし、これをロボットだけで満たすことは不可能だ。だからこそ、研究センターではロボットだけでなくヒューマンテストも実施。ボールの素材や構造に関わらず、HONMAではボールの「打感」がゴルファーにとって心地良いものなのかを徹底的に検証している。

そのため、様々なヘッドスピード帯のゴルファーに研究センターでボールテストを実施してもらい、打感のフィードバックを得ることを開発プロセスの中に取り入れている。HONMAでは、コンピューターシミュレーションだけで製造するボール開発とは、一線を画したボール開発を行っているのだ。

そして、品質テストもクラブ同様に妥協がない。あらゆる天候や湿度などにおけるボールの耐久性をチェックするウェザーテスト、ウェッジでの擦過傷を確認する耐久テスト。様々なつぶれ度合いを想定して3段階の圧縮率でのテストを行い、徹底的な品質管理にも余念がない。



ボールが置かれる環境は千差万別。しかし品質は、常に高くあらねばならない。



新商品デビュー！ ボール市場でさらなる躍進を

このような研究・開発の結果、現在、HONMAでは「HONMA-D1」以外にも高性能ウレタンボールの「T//WORLD TW-X」やウレタンボールの極限に挑戦した6ピースウレタンボールの「FUTURE XX」ボールなどをラインナップ。そして10月19日からは「A1」ボールを発売した。この「A1」は、左右の曲がりやを少しでも抑えてOBを減らしたいというゴルファーの声に応えた方向性重視の2ピース。打ち出しは高いが、上がり過ぎを抑えることで左右へのミスを軽減する。



方向性重視の2ピース「A1」。地道な開発の結晶。

また、11月26日からは「TW-X」をリニューアルするだけでなく、「TW-X」の打感がさらにソフトになったアスリートゴルファー向けの「TW-S」を発売する。「TW-X」は、飛距離性能もスピンコントロールも他のツアーボールと比較しても遜色ない評価を受けているが、リニューアルで飛距離性能がさらにアップ。一方、「TW-S」はショートゲームにおいて「もう少し柔らかい打感が欲しい」などソフトなフィーリングを好むユーザーのニーズを実現した。さらに、HONMAは「X4」もリリース。「X4」はヘッドスピード40m/s前後のゴルファーに向けた4ピースのウレタンボールで、HONMA史上最軟のソフトコアで飛距離ロスをなくし、適正なスピンも実現する。



HONMAは、ボールメーカーとしては新興ブランドだ。しかし、「ふだん使いの、高品質。」をコンセプトに、これからもクラブ開発同様に高品質、高性能を追求し、既存ブランドの開発とは異なるアプローチでゴルファーのニーズに応え、総合ゴルフメーカーとしての地位を固めて行く。

HONMAに関する、
取材・詳細のお問い合わせ先

株式会社 本間ゴルフ 担当:山本
TEL:03-6864-0020
本間ゴルフ PR担当 高野(ハイフィールド)
TEL:080-1148-1912

本資料の素材は右記QRコード、
または下記URLよりダウンロードいただけます。
ダウンロード期限:2020/01/04(sat)
<http://gf9.work/QOto>

